



主要な農作物の生育情報

平成26年度 第6号

(平成26年9月11日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

県内各地の出穂期は各品種とも平年並から早くなりました。穂いもちの発生は、平年並です。

農業総合センターにおける成熟期の予想は、平年に比べ本部が2日から3日遅れ、浜と会津が1日から2日早まる見込みです(表1)。

刈取適期は、籾の黄化率が80~90%になった時期で、出穂後の積算気温で「ひとめぼれ」が950℃、「コシヒカリ」が1,000~1,050℃到達日を目安とします。

本年は、特に出穂後の天候が不順となっていますので刈り取り適期を正確に判断しましょう。また、生育のバラツキや倒伏が発生した場合は刈り分けを行い、乾燥調製を丁寧に行うなど、良質米生産を心がけましょう。

表1 水稲主要品種の出穂期と成熟期予想(農業総合センター) (9月11日現在)

場 所	品 種	田植日 (月日)	出穂期			成熟期(予想)		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)
本 部 (郡山)	コシヒカリ	5.15	8.11	8.12	-1	(9.27)	9.24	(+3)
	ひとめぼれ	5.15	8.03	8.05	-2	(9.15)	9.13	(+2)
浜地域研究所 (相馬)	コシヒカリ	5.9	8.07	8.11	-4	(9.24)	9.25	(-1)
	ひとめぼれ	5.9	7.30	8.03	-4	9.10	9.12	-2
会津地域研究所 (会津坂下)	コシヒカリ	5.20	8.05	8.08	-3	(9.18)	9.20	(-2)
	ひとめぼれ	5.20	7.31	8.03	-3	9.11	9.12	-1

農業総合センター作柄解析試験。(浜地域の平年は前3カ年の平均値を示す。)

成熟期(予想)は、出穂後の積算気温到達日による予想日。

●農業総合センター作況試験(水稲)の調査結果はこちらも参考にしてください。

http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/sakkyou_index.htm

2 大豆

生育量は、草丈が平年並から長く、主茎節数が平年並から多くなっています。

病害虫防除所の調査では、紫斑病の発生量が平年並で、吸実性カメムシ類等の害虫類の発生は少なくなっていますが、害虫類の発生状況には注意してください。

なお、8月に入ってから降雨が多くなっていますので、引き続き排水対策を徹底しましょう。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

中通り地方の生育は、7月下旬に一時的に草勢が回復し出荷量も増加しましたが、成り疲れに加え、8月上旬までの連続した高温・乾燥、その後の降雨、日照不足、台風11号に伴う強風等により、草勢が弱い状態が続きました。その結果、不良果が発生しましたが、積極的な摘果等を行ったほ場では、草勢が回復に向かっています。

2 夏秋トマト

中通り地方の生育は、梅雨期の日照不足等によって4~5段のトマトの着色が遅れた影響により草勢が低下したほ場が発生しましたが、天候の回復に伴い生育は戻りました。その後、8月上旬の高温により10~11段目に花落ちが発生しました。現在は朝晩の気温の低下に伴い、着色に時間を要していますが、ほぼ平年並みの生育となっています。

3 サヤインゲン

県中地域の生育は、全体的に高温や湿害等の影響でツルの伸びが悪く、花落ちが発生しました。

現在、7月撒きの作型が収穫期となっており、今後は収穫量が増加するほ場が多くなる見込みです。病虫害の発生状況では、角斑病、アブラムシ類等が発生しているため注意が必要です。

4 夏秋ピーマン

県中地域の生育は7月上旬以降に着果数が増加し、収穫のピークを迎えましたが、ほ場によっては追肥、灌水等が間に合わず、着果負担等により草勢の低下がみられました。適期に追肥等を行ったほ場では、ほぼ順調に生育しています。

病虫害の発生状況は、8月中旬からの降雨から炭そ病等が発生しており注意が必要です。

【果 樹】（9月2日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 もも

「まどか」の収穫盛りは8月15日で平年より3日早く、糖度は11.6で平年より低い状況でした。

「川中島白桃」の収穫始めは8月21日で平年より4日、「ゆうぞら」の収穫始めは8月29日で平年より3日早い状況でした。

2 なし

「豊水」の果実肥大を暦日で比較すると、縦径が76.6mmで104%、横径が88.3mmで105%と、平年より大きい状況です。

「幸水」の収穫始めは8月22日、収穫盛りは8月30日でともに平年より5日早い状況でした。

3 りんご

「ふじ」の果実肥大を暦日で比較すると、縦径が73.4mmで103%、横径が83.5mmで107%と平年より大きい状況です。

「つがる」の収穫始めは8月22日で平年より6日早く、収穫盛りは8月28日で平年より7日早い状況でした。

【花 き】

1 キク類

県北地域の小ギクの8月咲きの生育は、平年より前進傾向となり、7月下旬から出荷が始まり、7月の最終週には、出荷量のピークを迎えました。9月咲きの生育は8月咲き同様に前進傾向であり、現在一部の品種で出荷が始まっています。9月咲きの出荷ピークは9月中旬頃の見込みです。

2 リンドウ

県中地域の9月彼岸咲き品種の生育は、平年よりやや前進していますが、草丈や節数とも平年並みで、9月中旬には出荷のピークを迎える見込みです。

【飼料作物】

牧草は、2番草の収穫が終わり、現在3番草の生育期を迎えています。地域によっては、降雨による刈遅れの影響で草丈が短い牧草地が見られます。

飼料用とうもろこしの生育は、収穫期、収量ともに平年並みが予想されます。早生種では8月下旬から収穫期を迎えています。降雨により収穫が遅れている地域があります。

稲WCSは、平年並みの8月下旬より収穫が開始され、これから本格的な収穫期を迎えます。

◎ 病虫害の発生状況や防除情報については、病虫害発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも十分注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>